

ピンク色の可憐な花を咲かせてくれた桜の季節が終わり、鮮やかな緑色が眩しい季節となりました。新年度が始まり、子どもも大人も新しい環境で緊張しながら過ごした1ヶ月だった事と思います。当室は「東北大学 軽症病児・病後児保育室」通称「星の子ルーム」です。

東北大学の教職員・学生のお子さんが、病気の回復期などで、登園・登校が出来ない時にお預かりをし、看護・保育を行っております。施設は東北大学病院内にありますが、星陵地区だけではなく、片平地区、川内地区、青葉山地区の方も多くご利用されています。

今年度も、保護者の方々が、お子さまを安心して預けることが出来る保育室を心がけ、運営して参りますので、どうぞよろしくお願いたします。



利用したい時はどうしたらいいの？

星の子ルームの利用予約は、「テオテ」というインターネット予約になっております。(旧あずかるこちゃん)

1. 星の子ルームのホームページを見てください。
必要な物・利用までの流れなど、詳しく掲載しています。

- 右のQRコードを読み取り、ラインでお友達登録をしましょう。
- テオテのアカウント登録をし、その後「星の子ルーム」の施設登録をしましょう。



2. かかりつけ医を受診
「かかりつけ医連絡票」を書いてもらいましょう。

- 受診時には当室専用の、かかりつけ医連絡票を持参し、医師に記入してもらいましょう。(お預かり出来ない疾病もありますので、ご確認ください)

3. テオテで予約しましょう！
• お子さまの様子を入力
• かかりつけ医連絡票をアップロード
• 確定時間までお待ちください

- 受診前でも予約は出来ませんが、かかりつけ医連絡票のアップロードなしでは予約完了とはなりません。
- 連日利用する場合もその都度申し込みが必要となります。その際、再度「かかりつけ医連絡票」のアップロードも必要となりますので、データ保存をお願いします。

お知らせ

ホームページの中に「食材表」と「アレルギー食依頼票」を追加しました。乳児食の方・食物アレルギーがある方は前もって記入し、入室時にご持参いただくと、朝の問診の時間が短縮されますので、よろしければご検討ください。(すでに提出されている方は不要です。)

お願い

- 朝夕の気温差がある季節となりますので、調節しやすい服をご用意ください。
- 当室でも麦茶をご用意しておりますが、普段飲み慣れている水筒・マグ等がございましたら、ご持参をお願いいたします。
また、イオン飲料・ジュース・牛乳等をご持参の場合、冷蔵庫保管となりますので、スタッフにお渡しください。



ご利用された皆さまの声



3歳の娘、2歳の息子を子育て中の母です。娘、息子ともにこれまで数々の感染症に罹患し、その度に星の子ルームにお世話になっております。子供を家で休ませてあげられないことに罪悪感を覚えることもありますが、子供たちはそんなことは露知らず。2歳息子は迎えに行くといつも笑顔で、3歳娘に至っては利用した帰り道に「明日も違う先生(星の子ルーム)に行きたい!」と言うほど、快適に過ごしているようです。お預かりいただくだけでなく、本調子ではない子供を楽しませながら、発熱や睡眠の様子なども細やかに観察していただき、感謝の気持ちでいっぱいです。いつも安心して利用させていただいております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

小児科医師 齋藤 寧子さん

両親とも産婦人科医(妻は他院)で、娘には0歳5ヶ月より保育園で頑張ってもらっています。初めての子育てで“はじめまして”のトラブルに四苦八苦・試行錯誤し家族全員で奔走する毎日。緊急の多い科で、緊急対応は得意分野でしたが、夫婦どちらかの当直の日の“おつかれ発熱”や保育園で流行する“なぞ風邪”など、我が家の緊急事態は対応困難…そんな困った状況で、星の子ルームに多大なサポートをいただき、なんとか走った1年でした。日常の子育ての困り事に労いやアドバイスをいただくこともしばしば。今ではすっかり楽しく星の子ルームでも遊ぶ娘の姿をみて、親にも子にも安心の環境なんだと感じます。今後ともお世話になります。

産婦人科医師 山口 峻史さん

私は時短勤務をしながら、5歳と3歳の子どもを育てています。子どもが体調を崩した際、そばで見守ってあげられないことに少し心苦しさを覚えることもありますが、院内の病児保育を利用できることは大きな支えになっています。勤務中はPHSで子どもの様子に変化があれば連絡をいただけるため、安心して仕事に向き合うことができます。最近子どもたちも大きくなり、利用する頻度は少し減ってきましたが、いざという時に頼れる存在があることに安心感があります。スタッフの方が丁寧に見てくださり、帰宅時に様子を教えていただけるのも助かっています。これからも頼りにさせていただきたいと思います。

看護師 森 真澄さん

星の子ルームのスタッフさんには親子ともども優しく迎えていただき感謝しています。

子どもの体調不良時は部署の皆さんにご配慮をいただいている状況ではありますが、「無理させたくないけどこれ以上お休みするのは迷惑がかかるな…」と悩んでしまう時もあります。そんな時に星の子ルームにお願いすることでプロの方に看ただけでいいこと、何かあれば連絡がくるため、万が一の際はすぐに駆け付けることができるという安心感がありいつもお願いしています。また、休ませることができないことで子どもに対して罪悪感でいっぱいになってしまうのですが、退室時に笑顔で「楽しかった!」と話す子どもの姿に、私自身の気持ちも軽くなります。

看護師 蠣崎 早奈恵さん

私たちスタッフもこのようなご意見をいただき、とても励みになります。今後も保護者の皆さまのお仕事と子育ての両立を少しでもお手伝いする事が出来たらと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

お問い合わせ 022-717-7819 メールアドレス hos-byoji@grp.tohoku.ac.jp

ホームページ <http://www.hosp.tohoku.ac.jp/hoshinoko-room.html>

